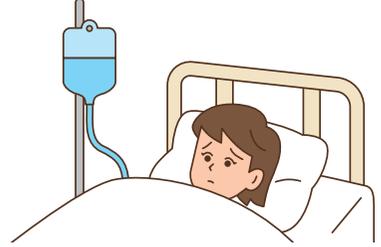
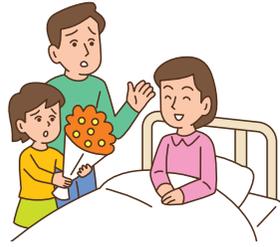


1 家族や自分に起きるかもしれない危険(リスク)について考えよう

かんが
考えられる危険に○をつけましょう。一番心配なことに◎をつけましょう。

 びょうき ふくつう 病気(腹痛・かぜ)	 じぶん 自分のけが	 じぶん こうつうじこ 自分の交通事故	 じぶん にゅういん 自分の入院
 じしん ひがい 地震の被害	 あそびときじこ 遊びの時の事故	 かぞくにゅういん 家族の入院	 かぞく 家族のけが

2 危険 (リスク) にそなえる方法を見つけよう

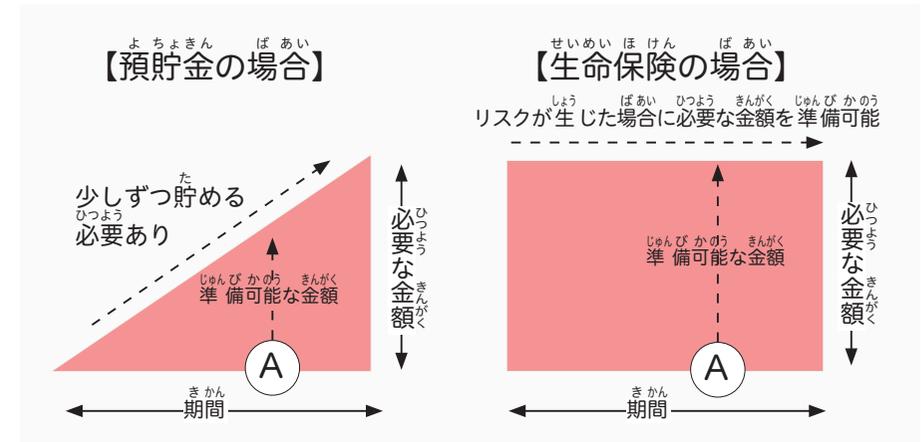
(1) 危険 (リスク) が実際に起きたら、どのようなことになるか線でむすびましょう。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 自分のけが、病気 ● 家族の入院 (大人) ● 家の災害 | <ul style="list-style-type: none"> ● 修理代などお金がかかる。 ● 働けなくなる。 ● 学校に行けなくなる。 |
|--|---|

(2) 危険 (リスク) に、そなえる (準備する) ために、あなたならどうしますか。

えらんで に○をつけましょう。

- ① 預貯金
- ② 生命保険
- ③ 預貯金、生命保険の両方で備える



よ 読みましょう

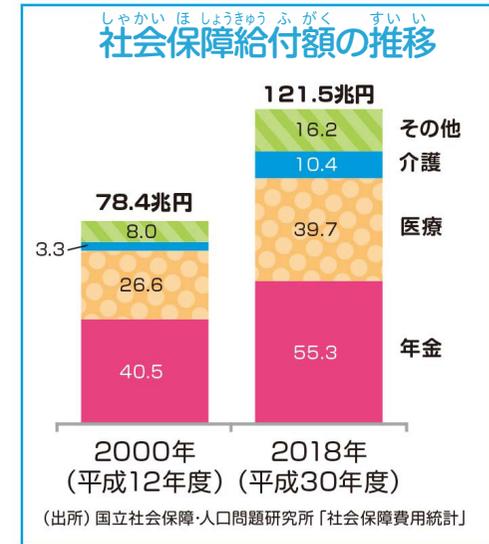
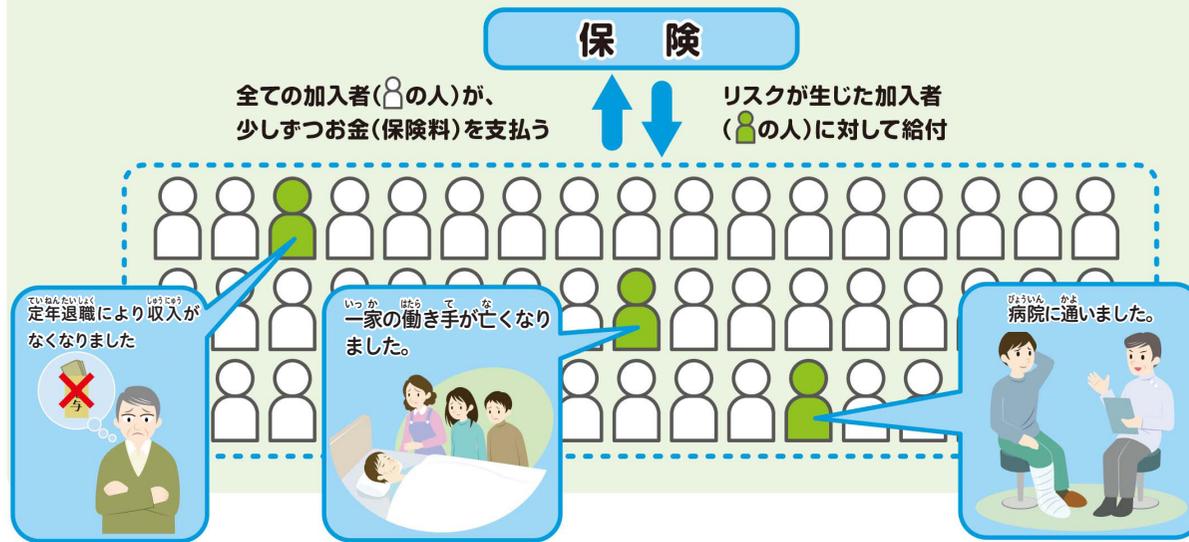
預貯金はお金をいつでも引き出せますが、十分あるとはかぎりません。生命保険は、決まったお金が受け取れます。

3

せいめいほけん
生命保険のしくみについて知ろう

あお ひと きけん しょう よ
青わくの人とはどんな危険(リスク)が生じたのか、読みましょう。

「保険」の仕組みとは？



よ
読みましょう

にほん はたら きけん
日本では働いていると、危険(リスク)にそなえて、社会保険料を国に納めています。右上の図のように、支払われる金額は、増えてきています。国におさめるだけでなく、

さらにそなえるのが、ほけん
保険です。みんなが、すこ かね だ あ
少しずつお金を出し合い、そなえるしくみが、ほけん かんが かつ
保険の考え方です。そうごふじよ たが たす あ
相互扶助(互いに助け合う)といいます。



4 せいめいほけんがいしゃ 生命保険会社について知ろう

(1) せいめいほけん にほん かにてい わりあい はい
生命保険は日本の家庭のどのくらいの割合で入っているでしょう。○をつけましょう。

わり
3割 (10 けんのうち3けん)

はんぶん
半分くらい

わり
9割 (10 けんのうち9けん)

(2) せつめい こえ よ
説明を声にだして読みましょう。

ほけんりょう こうへい 保険料を公平にするために

きけん (リスク) にそなえて、みんなで少しずつ出し合うお金を「保険料 (掛け金)」といいます。

ほけんりょう ねんれい けんこうじょうたい
保険料は、年齢や健康状態などによる危険(リスク)の可能性によって変わります。

じじよ きょうじよ こうじよ 自助・共助・公助

じじよ じぶん まも
自助・自分で守る

きょうじよ とも ささ あ しゃかい ほけん
共助・共に支え合う (社会保険)

こうじよ こま ひと たす しゃかいふくし
公助・困った人を助ける (社会福祉など)

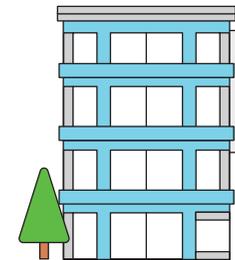
かにゅうしゃ
加入者



ほけんりょう
保険料



ほけんがいしゃ
保険会社



じじよ
自助
じぶん まも
自分で守る
みんかんほけん よちよきなど
(民間保険・預貯金等)

きょうじよ
共助
とも ささ
共に支えあう
しゃかいほけん
(社会保険)

こうじよ
公助
こま たす
困った人を助ける
しゃかいふくし こうてきふじよ こうしゅうえいせい
(社会福祉・公的扶助・公衆衛生)

びょうき ケガ しぼうじ
病気・ケガ・死亡時



ほけんりょう きゅうふきん
保険料・給付金



おぼえようキーワード

きけん 危険(リスク) ちやく 貯蓄 ほけん 保険 そうご 相互扶助 じじよ 自助 きょうじよ 共助 こうじよ 公助